



地域の様々な教育資源を活用し、自らの在り方・生き方としっかり向き合い、確固たる世界観や価値観、変化に柔軟に対応していく力、将来への展望等を併せもち、Society 5.0 を生き抜くために必要な力を育成する。

学習指導要領における総合的な探究の時間

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、**自己の在り方生き方を考えながらよりよく課題を発見し解決していくための資質・能力**を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

総合的な探究の時間の目標

1 学年の目標

地域や社会の人、もの、ことに関わる探究の過程において、**課題の解決に必要な知識及び技能**を身に付けるとともに、地域や社会の特徴やよさに気づき、それらが**人々の関わりや協働によって支えられていること**に気付く。

2 学年の目標

地域や社会の人、もの、ことと自分自身との関わりから問いを見だし、その解決に向けて**仮説を立てたり、調査して得た情報を基に分析したりする力**を身に付けるとともに、**論理的にまとめ・表現する力**を身に付ける。

3 学年の目標

地域や社会の人、もの、ことについての探究活動に主体的・協働的に取り組むとともに、**自ら考え、持続可能な社会を実現するために行動し、社会に貢献しようとする態度**を身に付ける。

探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力

知識及び技能

- ◆力を合わせ、目的の実現にむけて**協働的に取り組む**ことができる。
- ◆自分の住んでいる地域やそれ以外の地域にも、それぞれの文化や伝統があり、**個別の良さを持っていることに気付く**ことができる。
- ◆文化の違いや**多様性を認め合い**、様々な立場の**人が支え合い、協力し合っ**て**社会が成り立っていることを理解**することができる。
- ◆統計調査やアンケート調査、観察や実験などを**目的や対象に応じた適切さで、正確かつ安定的に実施**することができる。

思考力・判断力・表現力等

- ◆自ら立てた問いに対する関わりを通して課題をつくり、その**解決方法に向けて仮説を立て、検証方法を考え、計画を立案**することができる。
- ◆課題達成に向けて仮説を立てて、**試行錯誤を繰り返しながら**、多様な方法の中から**より効率的・効果的な手段を選択**することができる。
- ◆課題の解決に必要な情報を、**目的に応じた手段を選択**して収集し、**類別して蓄積**することができる。
- ◆自ら立てた問いに対する事実や関係を整理し、**事象を比較したり因果関係を推測したりして分析**することができる。
- ◆相手や**目的、意図に応じて論理的に表現**し、学習活動を振り返って学習や生活に生かすことができる。

学びに向かう力・人間性等

- ◆探究活動を通して、**自分の個性や特徴を見つめながら向き合う**とともに、異なる**多様な意見を受け入れ尊重しよう**とすることができる。
- ◆**自分の意思で**真摯に課題に向き合い解決に向けた探究に取り組もうとするとともに、自他の良さを認め特徴を生かしながら**協働的に課題を解決しよう**とすることができる。
- ◆探究活動を通して**自己の在り方生き方を考えながら**将来社会の理想の実現に努めるとともに、社会の形成者としての自覚をもって、**持続可能な社会づくりに参画・貢献しよう**とすることができる。

探究の課程において、必要となる学びの基盤となる資質・能力

情報活用能力

- ◆探究の過程において、世の中の様々な事象を情報とその結びつきとして捉え、情報及び情報技術を適切かつ効果的に活用して、**情報を収集・整理・発信したり、問題を発見・解決したり、自分の考えを形成したりしていくために必要な資質・能力**を養うために、コンピューターや情報通信ネットワークなどを活用する内容の学習活動

言語能力

- ◆**言語により**、問いを立てたり様々な資料から知識を得たり、情報を取り出したたり、それらを整理・比較しながら、自分の考えをまとめたり他者の思いを受け止めたりする学習活動
- ◆他者と**対話的に協働的に**課題に取り組む、課題を解決しようとする学習活動

考えるための技法

- ・順序づける
- ・比較する
- ・分類する
- ・関係付ける
- ・多面的に見る
- ・多角的に見る
- ・理由付ける
- ・見通す
- ・具体化する
- ・抽象化する
- ・構造化する
- ・共通点や相違点を見つける

教師は伴走者として、生徒の主体的で探究的な学びを**コーチング**する

教師は、生徒の**探究課題の答えを導く必要はない**。生徒が主体的に探究学習を進められるように、探究的な学びの**プロセスや進捗状況、視野を広げること**などへのアドバイスが重要となる。コーチングとは、**対話を重ねる**ことを通して、生徒が**目標を達成するために必要なスキルや知識、考え方を備えて、行動**することを**支援するプロセス**です。

◆コーチングの3原則

- ①双方向の対話（同じ立場、同じ目線で対話する）
- ②継続性（志を高める、基準値を上げる、気持ちを維持させる）
- ③個別対応（個に応じたアドバイス）

◆コーチング6つのプロセス

- ①セットアップ
- ②目標の明確化
- ③現状の明確化
- ④ギャップの原因分析
- ⑤行動計画の作成
- ⑥フォローアップ